

他にも様々な国のパンフレットをご用意しています



人気のナイル川の船旅やクフ王のピラミッドの貸切などこだわりの3コース。



この時期ならではの東海岸、アメリカ南部の音楽、オーロラ観測の計7コース。



パタゴニア、ガラパゴス、リオのカーニバルなど魅惑の中南米7コース。



3連泊を主体としたタスマニア、ニュージーランド南島、タヒチ・モーレア島。



この時期ならではの海域や航路、観光内容にこだわった計16コースを発表。



旬や地元料理に加え、秋から初春にかけてのイタリア・マルタ計6コース。



新企画「まだ見ぬヨーロッパ」南仏の小さな村々を訪ねる旅を含めた4コース。



こちらでご紹介したものの以外にも、「スペイン・ポルトガル」、「ルレ・エ・シャトーで愉しむ旅」、「世界冬の絶景」、「クリスマスの旅」などのパンフレットをご用意しております。お気軽にお問い合わせください。

●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立
旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い
旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金
「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの
(1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

- ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
- ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
- ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
- ④ 食事の料金(機内食は除く。)
- ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅行管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
- ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
- ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
- ⑧ 団体行動時の必要な心付け
- ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、通関税、同空港利用料
- ⑩ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したものの

(2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

- 上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
 - (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
 - (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
 - (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
 - (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
 - (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

- (1) 部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各

地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。
(2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して
弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えてきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光
船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について
座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について
当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

- 観光について：●＝入場観光 ○＝下車観光 ㊦＝ユネスコ世界遺産
- お食事：■＝朝食 ㊦＝昼食 ㊦＝夕食 ㊦＝機内食 □＝食事なし ㊦＝軽食(通常よりもお体にやさしい軽めの食事です)
- 乗り物：➡＝航空機 ㊦＝バス ㊦＝列車 ㊦＝自動車 ㊦＝船 ㊦＝ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について
パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただくよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、おおよその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて
旅行契約が成立した後(以下)の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外へ出発地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によります。

<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外へ出発地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取 消 料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までで解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金が30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までで解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までで解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

- (注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でもお申込時に必ずご確認ください。
- (注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。
- (注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準
ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2024年6月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

- **東京支店** TEL : 03-3501-4111
東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩
- **大阪支店** TEL : 06-6343-0111
大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 信濃 貴宣
- **名古屋支店** TEL : 052-252-2110
名古屋市中区栄3-14-7 RICC栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

- **九州支店** TEL : 092-473-0111
福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子
- **札幌支店** TEL : 011-232-9111
札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智
- **藤沢支店** TEL : 0466-27-0111
神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。 (株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号



2024・11 ▶ 2025・3

東京発



さあ、行こう また世界とつながる旅へ

モロッコの世界遺産アイト・ベン・ハドゥ

中近東・北アフリカ・アラビア半島の旅

10コース

Türkiye, Algeria, Tunisia, Morocco
Saudi Arabia, Oman, Kuwait, Bahrain, United Arab Emirates, Qatar

古代において常に人類の文明の最先端をゆき、
礎を築いてきた中近東の国々。
埋もれた古代王国の光を求めて

中近東・北アフリカ・アラビア半島の旅

Travels in the Middle East and North Africa

今年の中近東・北アフリカ・アラビア半島の旅は、ただ単純に観光地を巡るのではなく、それに加え、「より印象的に旅情を感じていただく」こともテーマにしました。

例えば、アルジェリアでは「イスラム教徒の清教徒」と称されるムザブ族が暮らすムザブの谷には2連泊し5つの村を訪問したり、チュニジアやモロッコ、ヨルダンでは砂漠での夜空を観賞したり。

さらに、歴史のロマンも意識し、ジブラルタル海峡を越える、あるいは、トルコではユーフラテス川とティグリス川を渡るなど、移動自体が旅の目的のひとつに成り得るコースもご用意しています。

また、オマーンの旅がワールド航空サービスでは実に5年ぶりに再登場。ワヒバ砂漠にある高級ロッジでの宿泊も組み込むことで、未知なる国オマーンが持つ様々な側面を垣間見ていただけることでしょう。

古代において
常に人類の文明の最先端をゆき、
礎を築いてきた中近東の国々。
埋もれた古代王国の光を求めて



エジプトの旅は別にパンフレットをご用意しています

人気のナイル川の船旅やクフ王のピラミッドの賞切などこだわりの3コース。

エジプトの旅

各国の旗と国名の他、砂漠にイルカが泳ぐ不思議な風景、動物の森のロマンチックな風景。

7 ページ

色彩の王国モロッコと幻想のサハラ砂漠

新月（満月）近くに合わせてサハラの砂丘に2泊

旅のポイント

Point 1
新月や満月の近くに合わせて、サハラ砂漠に宿泊。サハラの星月夜と朝日を観賞します。

Point 2
フェスに連泊し、世界遺産の迷宮都市の散策をゆっくりご案内します。

Point 3
宿泊する機会の少ないイト・ベン・ハドゥでは、世界遺産のカスパから徒歩圏内のホテルに宿泊します。

【11日間】 11月27日(水)、12月9日(月)、1月27日(月)、2月6日(木)、2月10日(月)

9 ページ

異郷セウタのパラドールとモロッコ・スペイン彩りの町々

ジブラルタル海峡を越えて

旅のポイント

Point 1
スペインの「飛び地」を訪ね、異郷のパラドールに宿泊するユニークなコースです。

Point 2
「青い町」として知られるモロッコのシャウエンに連泊。人気の少ない朝夕の散策はこの旅のハイライトのひとつです。

Point 3
コスタ・デル・ソルの可愛らしい町エステボナを拠点に、ロングや白い村セテニルへ足を伸ばします。

【10日間】 1月28日(火)、2月4日(火)

3 ページ

幻想のムザブの谷と望郷のアルジェ

今こそ旅好きの方にご紹介したい国アルジェリア

旅のポイント

Point 1
コーランを厳格に解釈するムザブ族の暮らす、秘境ガルダイアを訪ね、5つの村をご紹介します。

Point 2
迷宮のようなカスパで知られるアルジェの町を散策します。

Point 3
アルジェリアに点在するローマ遺跡の中より、地中海を見下ろす丘に広がるティバサ遺跡をご紹介します。また、シェルシェルでは優美なモザイクを見学します。

【8日間】 11月19日(火)、12月10日(火)、1月21日(火)、2月18日(火)

5 ページ

8つの世界遺産を訪ねるチュニジア大周遊の旅

民族、文化、伝統が入り込む モザイクの国へ

旅のポイント

Point 1
古代遺跡や旧市街の街並みなど、チュニジアに点在する世界遺産の数々をご紹介します。

Point 2
2023年の秋から再オープンとなったモザイク画の宝庫「バルドー博物館」も訪れます。

Point 3
ジェルバ島にも足を延ばし、アフリカ最古のシナゴグを訪れます。

【12日間】 11月25日(月)、12月2日(月)、1月27日(月)、2月17日(月)

17 ページ

アラビアの源流 サウジアラビア周遊の旅

開かれた神秘のヴェール

旅のポイント

Point 1
イスラム教二大聖地の一つ、メディナを訪ねます。

Point 2
サウジアラビア鉄道乗車体験や話題の鏡張りのコンサートホールなど新しい見どころも網羅。

Point 3
ディラーイーヤ遺跡や歴史都市ジェッダ、マディン・サール遺跡などサウジアラビアの世界遺産を訪ねます。

【10日間】 11月27日(水)、2月6日(木)

21 ページ

美しきアラビアの世界 大砂丘に泊まるオマーンの旅

キャセイパシフィック航空ビジネスクラス利用

旅のポイント

Point 1
大砂丘もある広大なワヒバ砂漠にある高級キャンプロッジに宿泊します。

Point 2
アラビアンナイトの世界が残るオマーンの首都マスカットでは、地区ごとの魅力をご紹介します。

Point 3
中世アラビアの姿を現代に留める世界遺産の古都ニズワに連泊します。

【8日間】 2月13日(木)

19 ページ

アラビア半島 湾岸6カ国周遊の旅

新旧の顔が入り混じる、ペルシャ湾岸の国々

旅のポイント

Point 1
10日間のコンパクトな日程ですが、2回の連泊で湾岸6カ国を効率よく巡ります。

Point 2
キング・ファハド・コースウェイを走り、バーレーンからサウジアラビアへ入国。訪れる機会の少ないダンマームを見学します。

Point 3
新旧の様々な魅力が入り混じるアラビア湾岸諸国の様々な魅力にふれてください。

【10日間】 2月18日(火)

11 ページ

トルコの大地6つの世界遺産とイスタンブールの旅

連泊主体にスケールの大きな14日間

旅のポイント

Point 1
驚異の大自然から悠久の歴史遺産まで、変化に富んだトルコならではの6つの世界遺産を訪問します。

Point 2
庄巻の景観が広がるカッパドキアでは、独特な地形を利用した設備の整ったホテルに3連泊。

Point 3
悠久の都イスタンブールの新旧の注目スポットへご案内します。

【14日間】 11月8日(金)、3月7日(金)

13 ページ

トルコ深南部とメソポタミア地方の旅

人類最古の遺跡の数々とメソポタミア有数の古都

旅のポイント

Point 1
古代メソポタミア文明を育んだ悠久の2大歴史河川、ティグリス川、ユーフラテス川を目の当たりに。感慨深いものがあります。

Point 2
メソポタミアの中世古都マルディンに3連泊。遺跡だけでなく、暮らしや文化にふれる街歩きも楽しめます。

Point 3
世界三大料理のひとつトルコ料理。なかでもグルメの街として知られるガズィアンテップにて多彩な食文化を堪能いただきます。

【9日間】 11月14日(木)、1月20日(月)、2月17日(月)

15 ページ

こだわりのホテルで楽しむヨルダン周遊の旅

ペトラ遺跡まで徒歩圏のホテルに宿泊

旅のポイント

Point 1
ペトラでは遺跡から徒歩圏内のホテルに連泊し、じっくりと遺跡を見学します。

Point 2
「アラビアのロレンス」の世界ワディ・ラムでは、砂漠での特別な滞在をお楽しみください。

Point 3
ヨルダンで最も新しい世界遺産の古都サルトを訪ねます。

【8日間】 11月11日(月)、12月9日(月)、1月27日(月)、2月24日(月)

今こそ旅好きの方にご紹介したい国アルジェリア

幻想のムザブの谷と望郷のアルジェ 8日間



ガルダイアの夕日（イメージ）

陽光溢れる青く輝く地中海とイスラム文化が交錯する場所

ツアーの見どころ

砂漠の町を満喫 一度は訪ねたいムザブの谷

ムザブ族はコーランを厳格に解釈する「イスラム教徒の清教徒」といわれ、イスラム世界で異端とされたため迫害を受け、信仰の場を求めて中世の時代にこの場所にやっ

てきました。現在でも女性は白いベールで全身を覆い、片目だけを出し、当時そのままの戒律を守り生活をしています。



ムザブの谷 ガルダイア（イメージ）



ムザブの谷メリカ村のシディ・アイサの墓

ツアープランナーより

「カスバの女」にも歌われた「ここは地の果てアルジェリア……」。一見、過酷な辺境地への旅と思われがちですが、決してそうではありません。特に西地中海に面している首都アルジェは、フランス風の雰囲気も感じられる街並みも広がります。フランスの占領下、アルジェは「北アフリカのパリ」になるべく、街並みには手が加えられましたが、その一方で、昔ながらのカスバは異国情緒に溢れています。また、ムザブの谷は、建築家コルビュジェも訪ね、ロンシャンの礼拝堂をはじめとする後期作品のインスピレーションを得、独特な景観を楽しむことができます。コンパクトな日程にまとめながらも、途中2連泊するなど、無理のない行程で訪ねます。そして、古代ローマ遺跡のティパサ遺跡も含め、計3つの世界遺産を訪ねます。



東京支店 鈴木 洋

建築家ル・コルビュジェとムザブの谷の深い関係

ル・コルビュジェはムザブの谷から多くのインスピレーションを受け、そこで得た美しい曲線のイメージを独自の設計に取り入れたことで知られています。特にエル・アティフ村の白いシディ・イブラヒム・モ

スクはフランスの「ロンシャン礼拝堂」に多くの影響を与えました。彼の著書「輝く都市」（1935年）のなかで、『デザインに困ったらガルダイアに行け』と絶賛し、ムザブの谷は有名になりました。



シディ・イブラヒム・モスク



フランスのロンシャン礼拝堂（ツアーでは訪れません） ©laporterie_AONDH

迷宮都市アルジェのカスバ

オスマン帝国時代の16世紀、太守の城塞のもと、山の斜面に沿って形成された迷宮都市アルジェ。曲がりくねった細い路地や狭い階段など当時の姿を残す街の中に、現在でも普通の人々が生活しています。フランス映画「望郷」の舞台でもあり、撮影もここで行われました。



心に残るカスバの風景

地中海に面するローマ遺跡のティパサ遺跡と卓越したモザイクを誇るシェルシェルを訪問

アルジェリアに点在するローマ遺跡の中から、このたびはアルジェからのアクセスも容易なティパサ遺跡を訪れます。また、シェルシェルでは付属の博物館も訪ねます。必見はローマ時代のモザイク。神話や肖像、食べ物、狩りなどモチーフは様々で、当時の暮らしがいきいきと描かれ、その美意識の高さ、芸術性に驚かされます。



シェルシェル博物館



ティパサ遺跡



旅のお食事 アルジェリア料理

アルジェリア料理は、ベルベル、アラブ、フランス料理がミックスされてでき上がったもの。見た目と異なりあっさりとした味付けで、食べやすいと好評です。



クスクス



料理（イメージ）

地中海沿岸は魚介類が豊富。味付けや調理方法は極めてシンプルで塩をふって素揚げにしたり、写真のように炭火で焼いたりなど日本人の口に合います。

集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田または羽田空港集合・8日間】		エコノミークラス利用	ビジネスクラス利用
2024年	11月19日(火), 12月10日(火)	¥398,000	¥918,000
2025年	1月21日(火), 2月18日(火)		
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着国際線区間			
燃油サーチャージ別途目安：¥66,000 / 5月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港22：30発→	深夜、成田空港より、航空機にてドバイへ。	（機中泊） ☐ ☐ 機
2	ドバイ05：30着 ドバイ08：10発→ アルジェ 12：40着	着後、航空機を乗り換え、アルジェへ。 着後、『カスバの女』で有名なアルジェのカスバを散策し、早めにホテルへ入ります	（アルジェ泊） ☐ 機機夕
3	アルジェタ刻発→ ガルダイア夜着	午前、バスにて世界遺産園アルジェの観光。○ノートルダム寺院、○独立記念塔などアルジェの市内観光。 夕刻、航空機にて、ムザブの谷の玄関口ガルダイアへ。	【2連泊】（ガルダイア泊）朝昼国
4	ガルダイア	終日、ムザブの谷を形成する5つの要塞都市、ガルダイア、メリカ、ブー・ヌーラ、ベニ・イスゲン、エル・アーティフを巡り、ムザブの谷の観光します。 夕刻、サンセットをご覧ください。（注）	（ガルダイア泊）朝昼夕
5	ガルダイア午後発→ アルジェ午後着	午後、航空機にて、アルジェリアの首都アルジェへ。	【2連泊】（アルジェ泊）朝国夕
6	アルジェ ㊦ （シェルシェル）㊦ （ティパサ）㊦ アルジェ	本日は終日、ローマ帝国の繁栄を支えた植民都市世界遺産園ティパサおよびシェルシェルを訪ねます。○マウレタニア王の墓(外観)、●シェルシェル博物館、●ティパサ博物館、●ティパサ遺跡を見学します。	（アルジェ泊）朝昼夕
7	アルジェ 15：30発→	午前、アルジェの簡単な散策。 午後、アルジェより航空機にてドバイへ。	（機中泊）朝 ☐ 機
8	ドバイ01：00着→ ドバイ02：55発→ 成田空港 17：20着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夕刻、成田空港到着後、解散。	機機 ☐

※日程表の時刻は成田空港発着のエミレーツ航空利用を想定したものです。エミレーツ航空の羽田空港発着便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

※欧米諸国に比べ、観光客の受け入れ態勢が十分ではないアルジェリアでは、現地国内線の遅延・変更ならびに運行の中止などが予告なく発生する場合がございます。ホテルにおきましても、政府等の都合により急遽変更せざるを得なくなる場合もございます。お客様にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

(注) サンセットは自然現象のため、必ずご覧いただけるとは限りません。予めご了承ください。

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食5回、昼食4回、夕食5回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行いたします。

■査証料：4,800円（2024年6月現在） ■査証取得手数料：6,600円（税込）

■査証用写真：2枚（縦4.5cm×横3.5cm 背景は白無地、カラー写真のみとなります。）※6か月以内に撮影されたもので、スナップ写真不可。

■バスポート本体をお預かりします。

ご宿泊ホテル

- アルジェ(2, 5, 6日目)：エル・オウラシ
- ガルダイア：ベルヴェデーレ
土地、柄簡素な設備となります。

※いずれのホテルもシャワーのみのお部屋となります。

3

4

8つの世界遺産を訪ねる チュニジア大周遊の旅 12日間



青と白のコントラストが印象的なシディ・ブ・サイド（イメージ）

様々な民族、文化、伝統が入り組む 北アフリカのモザイクの国へ

ツアーの見どころ

チュニジアの見どころ 世界遺産の数々を訪ねます

国土面積の大半は砂漠に覆われているため、見どころが凝縮されるチュニジア。それゆえに、世界遺産は点在していても、効率良く巡ることができます。長年ツアーを催行してきたワールド航空ならではのルート取りで、無理なくじっくりとご案内します。時代によって支配勢力が全く異なるチュニジア。その歴史に思いを駆け巡らせましょう。

①ドゥッガ遺跡

チュニジア北部のローマ遺跡。もともとベルベル人の村でしたが、紀元前2世紀にヌミディア王国の支配下に入り、その後ローマが占領しました。アフリカ最大規模のローマ遺跡で、町そのものが残る保存状態の良さには目を見張ります。このツアーでは、ドゥッガ遺跡近郊に宿泊することで、しっかりと時間を取って見学していただけます。



ドゥッガのシンボル「キャピトル」（3神を祀る神殿）

②カイラワン

西暦670年頃に町の建設が始まり、9～10世紀には北アフリカのアラブ王朝の首都となり、メッカ、メディナ、エルサレムに次ぐ第4の聖地として知られています。その中心となる大モスクは、見学できる貴重なウマイヤ朝時代のモスクです。

③エルジェムの円形闘技場

ローマのコロッセオに匹敵する巨大な円形闘技場。保存状態の良さは世界屈指で、アフリカでも最も印象的なローマ遺跡と言われます。



ウマイヤ朝時代の大モスク



縦149m、横124mは、チュニジア最大規模（イメージ）
©チュニジア大使館



クサル・ギレンのテントホテルでサハラ砂漠での一夜を

ツアープランナーより

チュニジアはカルタゴ時代から連綿と続く歴史、地中海沿いの街々、おいしいお食事にワインと魅力に溢れています。フェニキア人により建設されたカルタゴの時代に始まり、古代ローマやイスラム、フランスと多くの民族がこの地の覇権を握ってきました。それぞれの時代や文化を物語る遺跡や街並みが、現在のチュニジアの各地によく残されており、それが多面的な魅力を生み出す様はまさにモザイクの国と言えるでしょう。このたびはチュニジアの8つの世界遺産を訪ねるだけでなく、サハラ砂漠にありながら、設備の整ったベルベル人のテント風ホテルをご用意しました。また、一番新しく世界遺産に登録されたジェルバ島にも足を延ばし、様々な文化と人々が共存している暮らしぶりもご覧いただけます。



東京支店 渋谷恭子



⑤スースの旧市街

フェニキア人によって紀元前9世紀に建設された町です。現在の旧市街は北アフリカにイスラム勢力が進出してきた9世紀頃のもの。グランド・モスクをはじめ、当時の建物と街並みが良く残っています。



散策が楽しい旧市街（添乗員撮影）

⑥ケルクアン遺跡

北東チュニジアのボン岬近くにあるカルタゴの都市遺跡。ローマ人に再建されなかったため紀元前4世紀～紀元前3世紀の本来の古代カルタゴの遺跡です。



住居には浴槽やモザイクタイルがみられます

世界有数のモザイクコレクションを誇るバルドー博物館

2023年の秋から再オープンした首都チュニスの「バルドー博物館」も訪問します。天然の石やガラス、陶器から作られるモザイク画は、紀元前2,500年頃から発達した非常に高い芸術で、その写実性と躍動感に驚かされます。質の高いモザイク作品は、神話の物語や人々の日常を描く、まさに「観る歴史書」です。当時の北アフリカの文化的な豊かさを今に伝えます。



海の神ポセイドンを描いたモザイク

④ジェルバ島

オデュッセウスも流れ着いたというジェルバ島は、2023年に登録されたばかりの最新の世界遺産です。その歴史は深く、約2500年前にエルサレム神殿が破壊された時に難を逃れてやってきたユダヤ最古のディアスポラ・コミュニティがあり、イスラム教徒やベルベル人らと共生する興味深い地です。



ユダヤ教徒の聖地であり、巡礼者も訪れます

⑦カルタゴ遺跡

チュニジアの歴史が始まった地とも言える場所がカルタゴです。紀元前814年にフェニキア人によって建設され、後にローマ帝国に匹敵するほどの力を持ちましたが、紀元前146年ポエニ戦争でローマに敗れ、滅亡しました。



ピュルサの丘からは地中海が望めます

⑧チュニスの旧市街

現在のチュニジアの首都「チュニス」。アフリカ、イスラム、ヨーロッパの文化や様々な国の人々が行き交った街です。旧市街は7世紀に建設が始まり、アラブ・イスラム様式の都市計画が今もそのままの姿で残っています。



随所でアラブ・イスラム様式の装飾を楽しめます

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、カタル航空、エティハ航空、エミレーツ航空、エールフランスグループツアーコード：FN143T		
集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田または成田空港集合・12日間】 11月25日(月)、12月2日(月)、 2025年1月27日(月)、2月17日(月)	エコノミークラス利用 ¥398,000	ビジネスクラス利用 ¥918,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥70,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：日本発着国際線区間		
燃油サーチャージ別途目安：¥70,500 / 5月1日現在		

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港22:05発→	深夜、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
	イスタンブール05:55着 イスタンブール09:00発→	航空機を乗り換えチュニスへ。	
2	チュニス10:00着 ⇐ 世界遺産ドゥッガ ⇐ テブルスーク16:00着	着後、バスにてドゥッガへ。 午後、①⇐ ドゥッガ遺跡 の観光。(注) その後、ホテルへ。(ドゥッガ近郊テブルスーク泊) 機 昼 夕	
3	テブルスーク08:30着 ⇐ 世界遺産カイラワン 11:00着	午前、②⇐ カイラワン へ。着後、○ グランド・モスク や○ シディ・サハブ霊廟 などを訪れます。 午後、ホテルにチェックイン。 【2連泊】(カイラワン泊) 朝 昼 夕	
4	カイラワン ⇐ (世界遺産エルジェム)	日帰り、③⇐ エルジェムの円形闘技場 や● エルジェム博物館 を訪れます。(カイラワン泊) 朝 昼 夕	
5	カイラワン08:00発 ⇐ クサル・ギレン 17:00着	午前、バスにてサハラ砂漠方面へ南下します。 夕刻、4WDに分乗し、サハラ砂漠の クサル・ギレン へ。(クサル・ギレン泊) 朝 昼 夕	
6	クサル・ギレン09:00発 ⇐ ジェルバ島17:00着	午前、 ベルベル人のクサル(伝統集落) へ。 午後、④⇐ ジェルバ島 へ。夕刻、ホテルにチェックイン。 【2連泊】(ジェルバ島泊) 朝 昼 夕	
7	世界遺産ジェルバ島	午前、 フームスークの散策 や● ラ・グリバのシナゴーク を見学。 午後はホテルでゆっくりとお過ごしください。 ご希望の方はジェルバ島の民俗博物館へご案内します(実費)。(ジェルバ島泊) 朝 昼 夕	
8	ジェルバ島08:00発 ⇐ 世界遺産スース15:30着	午前、スースへ北上します。 午後、⑤⇐ スース旧市街 を散策。 夕刻、ホテルにチェックイン。(スース泊) 朝 昼 夕	
9	スース08:00発 ⇐ 世界遺産ケルクアン ⇐ チュニス16:00着	午前、バスにてボン岬の⑥⇐ ケルクアン へ。 着後、 フェニキア人の遺跡 を観光します。 午後、チュニスへ。 【2連泊】(チュニス泊) 朝 昼 夕	
10	チュニス ⇐ (シディ・ブ・サイド) (世界遺産カルタゴ) ⇐チュニス	午前、 シディ・ブ・サイド を散策。 午後、⑦⇐ カルタゴ遺跡 にて、○ アントニヌスの共同浴場 などを ご覧ください。(チュニス泊) 朝 昼 夕	
11	世界遺産チュニス チュニス18:15発→ イスタンブール23:10着	午前、⑧⇐ チュニス旧市街 の観光。○ グランド・モスク や スーク(市場) 、● バルドー博物館 にご案内します。 夕刻、航空機にてイスタンブールへ。(機中泊) 朝 昼 機	
12	イスタンブール02:35発→ 羽田空港19:45着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、羽田空港到着後、解散。 機 機 □	

※日程表の時刻は羽田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したものです。ターキッシュエアラインズの成田空港発着便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。
(注)利用航空会社によっては、ドゥッガの観光を3日目の午前中にご案内する場合があります。

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

ご旅行条件とご注意
■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食9回、昼食10回、夕食9回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行いたします。
■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

ご宿泊ホテル

- ドゥッガ遺跡近郊テブルスーク：ホテル・ドゥッガ
田舎のホテルの為、設備は簡素になります。
- カイラワン：ホテル・ラ・カスバ
旧市街までは徒歩5分。カスバ(城塞)を模したホテルで、アラブの雰囲気を感じられます。
- クサル・ギレン：パンシー
サハラ砂漠のオアシスに位置するテントスタイルのホテル。雄大なサハラ砂漠までも歩いてすぐ。感動的な朝日、夕陽はもとより、美しい星空をお楽しみいただけます。
※客室にはトイレ、シャワー、エアコンも完備されていますが、テントスタイルの性質上、隙間風が入る、暖房が効きづらい、湯の出が悪い、電球が切れてしまう、などの問題が起こりやすい傾向がありますので、予めお含みおさください。客室内にシャワーや暖房はありますが、念のため、温かい寝具をご持参ください。
- ジェルバ島：ハズドゥルバル・プレステージ・タラッサ&スパ・ジェルバ
海岸沿いに建つホテルで、スパ施設なども整っています。
- スース：スース・パレス
- チュニス：ホテル・アフリカ

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

新月(満月)に合わせてサハラの砂丘に2泊
色彩の王国モロッコと
幻想のサハラ砂漠 11日間



フェズ旧市街の入口、モザイクが美しいブー・ジュールード門

サハラの夕日、活気ある迷路のようなスーク、
旧市街に響くアザーン。モロッコは多彩な魅力に溢れています。

ツアーの見どころ

統一された街のカラーが、モロッコの美しさの秘密

モロッコでは、街並みの美しさを保つために、行政が指定色以外で建物を塗ることを禁じています。フェズでは黄色と緑、カサブランカでは白、砂漠エリアはベージュ、そしてマラケシュはサーモンピンクと、まさに



メクネスのマンスール門



「アラビアのロレンス」の撮影地 アイト・ベン・ハドゥ(イメージ)

ツアープランナーより

丘巻の大砂丘が広がるサハラ砂漠。モロッコは古くからイスラムやアラブ、フランスやスペインなどから様々なルーツを持つ人々が移り住み、先住ベルベルの民が持つ素朴で力強いアフリカ民族文化と共に、洗練された欧州文化などが感じられ実に多彩です。サハラ砂漠では、美しい砂丘風景が広がるメルズーガ砂丘に宿泊し、ベルベルの民族音楽に加え、滞在日は満天の星空(または、満月の月夜)をご覧ください。新月(満月)周辺の日付に合わせました。モロッコらしくタジン鍋を使った料理やクスクスに加え、フェズでのインテリアの素敵なカフェでの食事など、お食事にも気を配りながら、2泊を主体に決して駆け足とならない行程で旅する、一味違うモロッコの旅。どうぞお楽しみください。



東京支店 金子友里恵

マラケシュの「スーク」が面白い

「スーク」とはマーケットのことですが、ゴールドスーク、ラグ(幾何学模様が施されたマット)スークなど、それぞれ同業の専門店が軒を連ねて一か所にかたまっています。これは、その昔のギルド制度の名残り。カラフルな染色スークもおおすすめです。



フナ広場からスーク街へ(イメージ)



マラケシュ観光の中心地、屋台で賑わうジャマ・エル・フナ広場(イメージ)

ベルベル人の村訪問と
異国情緒溢れる民族音楽に耳をすますひととき

一般のツアーでは訪れる機会の少ない、ベルベル人の村ハミリアへご案内します。ここに住むグナワはもともとサハラ以南で遊牧を行っていたアフリカ系の黒人でしたが、奴隷貿易によって移動を余儀なくされました。カスタネットや太鼓を使った彼らの独自の伝承音楽はモロッコ全土で知られ、ヨーロッパから招待を受けて海外で公演することもあるほどです



グナワ音楽を通して、地域文化と触れ合う時間をお取りしました(イメージ)

幻想的なサハラ砂漠
朝日、夕日観賞と満天の星(または月夜)をお楽しみください

このコースでは砂丘の目の前に建てられたラグジュアリーキャンプに連泊し、時間帯により刻々と表情を変えていくサハラ砂漠をお楽しみいただけます。またサハラ砂漠から昇る朝日、沈む夕日を観賞。そして夜には満天の星(または満月の月夜)が頭上を覆います。皆様の忘れられない旅の景色になることでしょう。(注)



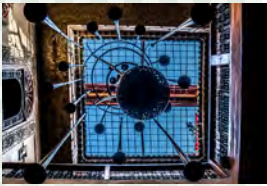
朝、夕、夜と時間帯によって姿を変えていく幻想的なサハラ砂漠(イメージ)

イヴ・サンローラン博物館 (Le musée Yves Saint Laurent)

2017年にパリとマラケシュにオープンしたイヴ・サンローラン博物館。ジュエリーや服のコレクションの中には、モロッコやアフリカからの影響が大きく、モロッコの文化や伝統的なデザインへのリスペクトが感じられることと思います。



イヴ・サンローラン博物館 ©Fondation Jardin



カフェの店内 (イメージ)

素敵なインテリアが嬉しいカフェ「Cafe Clock」

車が入れないフェズのメディナ(旧市街)観光の日は、ブー・ジュールード門に近いカフェでのランチも楽しめます。天井からぶら下がるラッパの数々もお洒落なフェズならではのインテリアのひとつです。

ご宿泊ホテル

- ラバト：ホテル・ル・ディワン・ラバト・Mギャラリー
- フェズ：ホテル・レ・メリニド・フェズ
フェズの高台に位置し、ホテルの敷地から旧市街の眺望を楽しむことができます。
- メルズーガ：サハラ・デザート・ラグジュアリー・キャンプ
サハラ砂漠の砂丘の中に建つ高級なキャンプ・ホテル。周囲に広がるサハラ砂漠の絶景と、美しい夜空をお楽しみください。 ※シャワーのみの客室となります。



- アイト・ベン・ハドゥ：リヤド・マクトゥーブ
モロッコを代表する世界遺産アイト・ベン・ハドゥのカサバの徒歩圏に位置するホテルです。 ※シャワーのみの客室となります。
- マラケシュ：イヴェルナーージュ・ホテル&スパ
メディナ(旧市街)を取り囲む城壁にもほど近い立地にあるホテルです

※バス付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、エールフランス航空、カタル航空、エミレーツ航空				ツアーコード：FN014T	
集合・日数・出発日			旅行代金		
【羽田または成田空港集合・11日間】					
2024年	新月 11月27日(水)、満月 12月9日(月)		エコノミークラス利用	ビジネスクラス利用	
2025年	新月 1月27日(月)、満月 2月6日(木)、10日(月)	(注)	¥498,000	¥1,018,000	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥120,000にて承ります)					
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間に適用					
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500/6月1日現在					

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港22:05発→	深夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05:55着 イスタンブール11:50発→ カサブランカ14:50着 ラバト19:30着	航空機を乗り換え、カサブランカへ。 着後、○ハッサン2世モスクをご覧ください、モロッコの首都ラバトへ。	(ラバト泊) 機機夕
3	ラバト08:30発→ メクネス→	午前、世界遺産園ラバトの観光。●ムハンマド5世の霊廟、○ハッサンの塔を見学し、その後、世界遺産園メクネスへ。着後、昼食および観光。○マンスール門や○メディナ(旧市街)にご案内します。 夕刻、フェズに到着。	[2連泊](フェズ泊) 朝昼夕
4	フェズ17:30着 フェズ	終日、世界遺産園フェズの観光へ。メディナ(旧市街)を訪ね、○王宮や○ユダヤ人街メッハハ、革の染色場タンネリ、○ブー・ジュールード門などへご案内します。	(フェズ泊) 朝昼夕
5	フェズ08:00発→ エルフード→ メルズーガ18:00着	午前、アトラス山脈を越え、エルフードへ。 着後、四輪駆動車に乗り換え、メルズーガへ。 夕刻、ホテルへ。サハラ砂漠のテント・ホテルにて美しい夜空(新月であれば星空、満月であれば月見)をお楽しみください(注)。	[2連泊](メルズーガ砂漠泊) 朝昼夕
6	メルズーガ(ウジナ砂丘) (ハミリア村)	朝、サハラ砂漠に昇る朝日を観賞。(注)朝食後、砂漠に点在する村々の訪問や、アルジェリア国境近くのウジナ砂丘へのドライブを楽しみます。 午後、ベルベル人が住むハミリア村を訪問。精霊信仰とイスラム神秘主義が融合して生まれたグナワ音楽もお楽しみください。 夕刻、サハラ砂漠に沈む夕日を観賞。(注)	(メルズーガ砂漠泊) 朝昼夕
7	メルズーガ08:00発→ エルフード→ トラドラン谷→ アイト・ベン・ハドゥ18:00着	午前、四輪駆動車でエルフードへ。 着後、バスに乗り換え、大景観のトラドラン谷にて昼食。 午後、カスバ街道を走り、アイト・ベン・ハドゥへ。	(アイト・ベン・ハドゥ泊) 朝昼夕
8	アイト・ベン・ハドゥ13:00発→ マラケシュ16:30着	午前、世界遺産園アイト・ベン・ハドゥの散策。要塞化された村クサールの散策をお楽しみください。午後、ティシュカ峠を越え、マラケシュへ。	[2連泊](マラケシュ泊) 朝昼夕
9	マラケシュ	午前、世界遺産園マラケシュの観光。メディナ(旧市街)の中心に位置する○スークなどを見学します。 午後、●イヴ・サンローラン博物館へご案内します。 夕刻、活気のある○ジャマ・エル・フナ広場を訪ねます。	(マラケシュ泊) 朝昼夕
10	マラケシュ16:15発→ イスタンブール23:20着	午前、自由行動。 午後、マラケシュより航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝国機
11	イスタンブール02:35発→ 羽田空港19:45着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、羽田空港に到着。解散。	機機□

※日程表の時刻は羽田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したものです。ターキッシュエアラインズの成田空港発着便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

(注) 星空や夕日、朝日の観賞は自然現象のため、荒天等の場合はご覧いただけない場合もございます。11月27日、1月27日発は新月、12月9日、2月6日、2月10日発は満月周辺の出発日です。

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付機内食がご用意の各支店へお問い合わせください
----------	--	--------------------------

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食8回、夕食8回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

ジブラルタル海峡を越えて
異郷セウタのパラドールと
モロッコ・スペイン彩りの町々 10日間



「青い町」シャウエン（イメージ）

モロッコからスペインへの異色の旅
白亜の城館風ホテルやパラドールの滞在と共に。

ここに注目。旅のポイント

多様な民族文化。モロッコにあるスペインの飛び地

モロッコに存在するスペインの飛び地のひとつがセウタです。フェニキア人が町を築いたことに端を発し、ローマやイスラム王朝、ポルトガルの支配を経てスペイン領になりました。海上交通の要衝であり自由貿易港だった歴史的経緯から、様々なルーツを持つ人々が暮らし、キリスト教だけでなく、イスラム教、ヒンドゥー教、ユダヤ教の施設が今も見られます。スペイン本土とはフェリーで1時間ほど。それゆえスペイン色を色濃く湛えながら、独特の異国情緒を感じさせる町です。ここではパラドールにお泊りいただきます。



モロッコに存在するスペインの飛び地セウタ



ツアープランナーより

スペインを周遊する旅のなかでも異色の旅を企画しました。旅はモロッコからはじまり、カサブランカや世界遺産の古都メクネスを訪問。その後、モロッコの青い町シャウエンでは連泊して朝夕の散策を楽しみ、絵になる絶景の空中都市ティトゥアンに立ち寄ってから、モロッコの中にあるスペイン領セウタを訪ねます。スペインでもモロッコでもない、独特の旅情溢れる町の滞在をパラドールにてお楽しみください。その後、ジブラルタル海峡を渡りスペインへ。コスタ・デル・ソルで最も可愛い町と謳われる当社初登場のエステポナに滞在し、スペイン南部の白い村も訪ねます。日本では感じられない、ヨーロッパとアフリカの歴史的、地理的な関係の深さを体感していただけでしょう。



藤沢支店 近 博之

モロッコの「青い町」シャウエンに連泊するこだわり

モロッコで宿泊するシャウエンは「青い町」として知られ、近年多くの観光客の注目を集め、昼間は人で溢れかえっています。メディナ（旧市街）の細い路地に建ち並ぶ家々の壁は青く彩られ、歩いてみると、おとぎ話の世界に迷い込んだかのようなです。若干ホテルの質が劣るものの、朝やとくに夕暮れ時はマジックタイムと呼ばれるほど、シャウエンの美しさが見え隠れするため、連泊にしています。



「青い町」シャウエン

コスタ・デル・ソルの可愛い町エステポナに2泊

花いっぱい植木鉢と白い家で飾られた静かな広場。コスタ・デル・ソルの文化的伝統が色濃く残る歴史深い旧市街。海岸沿いにはヤシの木が並び港町。コスタ・デル・ソルで最も可愛い町とも呼ばれています。白亜の城館のような佇まいのホテルで優雅なホテルライフとともに、エステポナでは町歩きをお楽しみください。バスで白い村セテニル、断崖絶壁のロンダへのご案内しますが、ランチはパラドール・ロンダでご用意しました。



ワールド航空のツアー初登場の町エステポナ

ツアーの見どころ

絶景の空中都市ロンダと洞窟住居が残るセテニルへ

エステポナ滞在中にはロンダにも小路まで、どこを切り取っても絵になり、散策するのがとても楽しい町です。また川に浸食された岩の隙間に造られた洞窟住居で有名な村、セテニル・デ・ラス・ボデガスにも立ち寄ります。



ロンダを代表する風景 ヌエボ橋が旧市街と新市街を結びます



セテニルでは岩が川に浸食された場所に住居や店が連なる独特な風景が展開しています

ご宿泊ホテル

■ カサブランカ：モーベンピック・ホテル・カサブランカ

■ メクネス：ホテル・メンゼ・ダリア

■ シャウエン：ホテル・パラドール

シャウエンでは設備の整ったホテルに限られるため、他の町のホテルに比べると設備は簡素となります。中でも、観光がしやすいように、町の中心部にあるホテルを選定しております。予めお名前ください。

■ セウタ：パラドール・デ・セウタ

2名様利用のお部屋タイプはダブルベッドとなる場合があります。

■ エステポナ：エル・ピラール・アンダルシア

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、エールフランス航空、カタール航空、エミレーツ航空 ツアーコード：EU393T	
集合・日数・出発日	旅行代金
【羽田または成田空港集合・10日間】 2025年 1月28日(火)、2月4日(火)	エコノミークラス利用 ¥598,000
	ビジネスクラス利用 ¥1,118,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥130,000にて承ります)	
ビジネスクラス利用区間：日本発着国際線区間	
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：6月1日現在	

欧	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港22:05発	夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05:55着 イスタンブール11:50発 カサブランカ14:50着	航空機を乗り換え、モロッコの玄関口カサブランカへ。 着後、車窓よりカサブランカの町並みをご覧いただき、ホテルへ。 (カサブランカ泊) 機機夕	
3	カサブランカ08:00発 ラバト メクネス16:30着	午前、モロッコの首都ラバトへ。着後、 ウダイヤ庭園、ムハンマド5世の霊廟、ハッサンの塔にご案内します。午後、メクネスへ。着後、 ムレーイ・イスマイル廟にご案内します。	(メクネス泊) 朝昼夕
	メクネス09:00発	午前、世界遺産の古都メクネスの観光。 マンスール門などにご案内します。	
4	ヴォルビルス シャウエン17:30着	その後、モロッコにあるローマ都市遺跡として唯一の世界遺産である ヴォルビルス遺跡へ。 午後、「青い町」シャウエンへ。	【2連泊】(シャウエン泊) 朝昼夕
5	シャウエン	終日、「青い町」シャウエンにてゆっくりと散策をお楽しみください。	(シャウエン泊) 朝昼夕
6	シャウエン08:00発 ティトゥアン セウタ13:00着	午前、「モロッコのアンダルシア」と称される町テトゥアンへ移動し旧市街の散策。 その後、国境を越えスペイン領の飛び地セウタへ。 セウタの散策を楽しんだ後、「パラドール」にチェックイン。	(セウタ「パラドール」泊) 朝昼夕
	セウタ09:00発 (ジブラルタル海峡) アルヘシラス ジブラルタル エステポナ16:00着	午前、フェリーにて、ジブラルタル海峡を渡り、アルヘシラスへ。 (注1) 着後、英国領ジブラルタルに立ち寄ります。(注2) 午後、コスタ・デル・ソル観光局お勧めの町エステポナへ。 ご宿泊は白亜の外観が美しいホテル「シルケン・エル・ピラール」です。	【2連泊】(エステポナ泊) 朝国夕
8	エステポナ (セテニル) (ロンダ) エステポナ	午前、白い村セテニルへ。その後、断崖絶壁の町ロンダへ。 昼食は、パラドールにてお召し上がりください。 午後、ロンダの散策後、エステポナに戻ります。	(エステポナ泊) 朝昼夕
9	エステポナ13:30発 マラガ17:45発	エステポナにてごゆっくりお過ごしください。 昼食後、マラガ空港へ。 夕刻、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝昼機
10	イスタンブール00:15着 イスタンブール02:35発 羽田空港19:45着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、羽田空港着後、解散。	機機□

※日程表の時刻はターキッシュエアラインズの羽田空港発着の便を想定したものです。他航空会社便、及びターキッシュエアラインズの成田線を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

(注1)フェリーの時間は変更となる場合があります。
(注2)ジブラルタルのザ・ロックまでのケーブルカーは、現在修復工事のため、ツアーではご案内できないため予めご了承ください。

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付帯条件がございますので各支店へお問い合わせください。
----------	--	------------------------------

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

2連泊いただくエステポナのホテル「エル・ピラール・アンダルシア」

白亜の外観が印象的なホテル。客室は現代的なスタイルとクラシックなスタイルを組み合わせた装飾が施されるなど、洗練された空間です。エステポナの中心部に位置し、観光やショッピングなどお出かけに便利な好立地となっています。



連泊主体にスケールの大きな14日間

トルコの大地6つの世界遺産と

イスタンブールの旅 14日間



トプカプ宮殿 ハレム皇帝の間



エキゾチックな街々と驚きの大自然を 連泊主体で旅する14日間

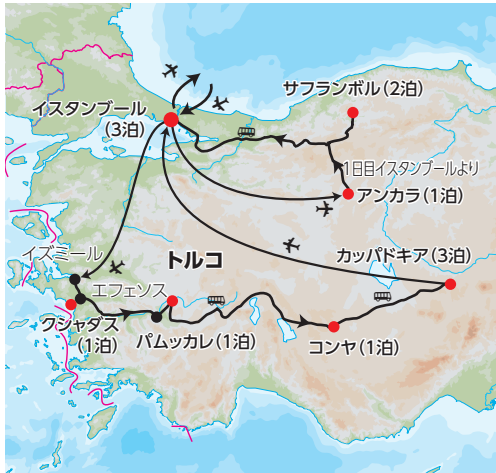
ここに注目。旅のポイント

世界遺産 イスタンブール歴史地区をじっくりと

ここ数年で大きく進化、変貌を遂げるイスタンブール。世界遺産のスルタンアフメット歴史地区では、修復が完了したブルーモスク、初公開のエリアも含め、参観スペースが大きく広がったトプカプ宮殿、博物館か

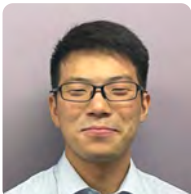


修復が完了したブルーモスクの内部(イメージ)



ツアープランナーより

14日間で、6つの世界遺産を訪ねながら、トルコの広大な大地を実感いただくツアーです。オスマン朝の古い町並みがそのままの姿で迎えてくれるサフランボル、古代ローマの都市遺跡エフェソス、石灰棚の奇観が広がるパムッカレ、そして奇岩群カッパドキアでは、上質な洞窟ホテル3泊をご用意。もちろんイスタンブールの3泊も含め、トルコという国の極めて多彩な魅力の数々を、連泊を主体に国内フライトとバスを駆使して訪ねる、スケールの大きな旅にいたしました。



東京支店 笹島侑弥

世界遺産 カッパドキアにゆったり3泊 アナトリアの大地が創り上げた圧巻の大自然へ

ひと口にカッパドキアといっても実は広大で、中心エリアだけでも東西20キロ強、南北15キロほど。大自然が創出した奇岩地帯に、巨大な地下都市や初期キリスト岩窟教会など

人間の歴史的な営みにも驚嘆することでしょう。このたびは、人気の洞窟ホテルに3連泊しながら、しっかりゆったり世界遺産カッパドキアをお楽しみいただきたいと思います。



カッパドキアの眺め(イメージ)

世界遺産 ローマ遺跡アフロディシアス

紀元前1世紀から5世紀に繁栄した古代都市。名前の由来のアフロディーテ神殿は、高さ3メートルの女神像が安置され、後世にはキリスト教会として使われました。競技場の保存状態も世界トップクラスです。



世界遺産アフロディシアス

世界遺産 エフェソス都市遺跡 歴史の中を歩く

本国のイタリアを差し置いても、最も保存状態の良い古代ローマの都市遺跡のひとつ。神殿、図書館、ローマ浴場、公衆トイレなど2000年以上前に基本的な都市機能がほぼ揃っていたことには驚かされます。



世界遺産エフェソス遺跡

世界遺産 オスマン時代の風情が残るサフランボル市街

地中海と黒海を結ぶ交通の要衝だったサフランボルにはオスマン朝時代からの建築が多く残っています。土壁に木の窓枠が並ぶ街並みは、今なお当時の雰囲気漂わせています。



サフランボルの街並み

近郊に宿泊して世界遺産パムッカレを訪問

パムッカレは「綿の城」という意味。広大な石灰棚の数々と淡いブルーの温水が織りなす美しき奇景は、まさに幻想的です。宿泊するので、午後ゆっくりと見学します。



神秘的な世界遺産パムッカレ

ご宿泊ホテル

- サフランボル：ヒルトン・ガーデン・イン・サフランボル
旧市街から約2キロの郊外に位置するホテル。
- イスタンブール：スラ・ハギア・ソフィア・ホテル
ブルーモスクやアヤソフィアも徒歩圏内にあるホテルです。
- クシャダス：ル・ブルー・ホテル&リゾート
※シャワーのみのお部屋となります。
- パムッカレ：パム・サマー・ホテル
- コンヤ：デデマン・コンヤ
- カッパドキア：ニノ・ケープ・スイーツ・ホテル
独特なこの土地の地形を利用したカッパドキアらしい雰囲気のホテル。設備の整った快適なホテルで3連泊です。



ご宿泊いただくニノ・ケープ・スイーツ・ホテル カッパドキアらしい雰囲気のホテルです(イメージ)

※バスツアー付き客室をご用意しておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。※サフランボル、クシャダス、カッパドキアのホテルはシャワーのみのお部屋となります。



イスタンブール旧市街

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：ME020T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田または成田空港集合・14日間】		エコノミークラス利用	ビジネスクラス利用
2024年 11月8日(金)		¥598,000	¥1,118,000
2025年 3月7日(金)			
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥110,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区分：日本発着国際線区分(羽田または成田空港～イスタンブール空港間往復)			
燃油サーチャージ別途目安：¥70,500/5月1日現在			

駅	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港22:05発	夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。(※)	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05:55着 イスタンブール08:00発 アンカラ09:10着 サフランボル17:30着	航空機を乗り換え、アンカラへ。 着後、●アナトリア文明博物館、○アンカラ城を見学します。 夕刻、サフランボルへ。	【2連泊】(サフランボル泊) 機昼夕
3	サフランボル	午前、サフランボル市街の観光。オスマン朝時代の古い町並みが残る旧市街の散策にご案内します。 午後、中世そのままのサフランボルにて自由行動。	(サフランボル泊) 朝昼夕
4	サフランボル08:00発 イスタンブール13:30着	午前、バスにてイスタンブールへ。 着後、新市街に位置する●ドルマバフチェ宮殿にご案内します。	【3連泊】(イスタンブール泊) 朝昼夕
5	イスタンブール	終日、イスタンブール歴史地区の観光。 2020年からモスクに代わった●アヤソフィア、●地下宮殿、修復を終えた●ブルーモスクを参観します。	(イスタンブール泊) 朝昼□
6	イスタンブール	午前、修復が完了し、全面リニューアル・オープンした●トプカプ宮殿を見学します。 午後、自由行動。	(イスタンブール泊) 朝昼夕
7	イスタンブール10:00発 イズミール11:10着 エフェソス クシャダス	午前、国内線にてエーゲ海に面したイズミールへ。(注) 着後、壮大な古代都市遺跡、エフェソスの観光。 夕刻、クシャダスのホテルへ。	(クシャダス泊) 朝昼夕
8	クシャダス08:30発 アフロディシアス パムッカレ13:00着	午前、バスにて、紀元前3世紀の都市遺跡、アフロディシアスを訪れ、その後、温泉地パムッカレへ。 午後、石灰棚の奇観が広がるパムッカレ・ヒエラポリスを見学します。	(パムッカレ泊) 朝昼夕
9	パムッカレ08:00発 コンヤ13:30着	午前、セルジューク朝時代の都コンヤへ。 午後、コンヤの観光。●メヴラーナ博物館や●アラアッディン・ジャーミイにご案内します。	(コンヤ泊) 朝昼夕
10	コンヤ09:00発 カッパドキア12:30着	アナトリア高原のカッパドキアへ。 着後、奇岩群が広がるカッパドキアの観光。●ギョレメ野外博物館や○ローズバレー、○オルタヒサルなどにご案内します。	【3連泊】(カッパドキア泊) 朝昼夕
11	カッパドキア	引き続き、奇岩群が広がるカッパドキア岩窟群の観光をお楽しみください。	(カッパドキア泊) 朝昼夕
12	カッパドキア	午前、シルクロードの時代から東洋と西洋を結ぶ交通の要所として栄えたカイセリの街へ。 ○カイセリ城壁や○グムフリエト広場周辺の散策へご案内します。	(カッパドキア泊) 朝昼夕
13	カッパドキア午後発 ネグシュェル21:35発 イスタンブール23:05着	午後、バスにてネグシュェル空港へ。 国内線にてイスタンブールへ。(注) 着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。	(機中泊) 朝□機
14	イスタンブール02:35着 羽田空港19:45着	夜、羽田空港に到着後、解散。	機□□

※日程表の時刻は、羽田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したものです。ターキッシュエアラインズの成田空港発着便を利用の場合、往路は成田空港を午前中に出発し、同日にアンカラに到着する為、1日目はアンカラ宿泊(ヒルトン・アンカラSA)となります。(注)トルコの国内線の時間は変更となる場合があります。

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付条件がごさいますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	---------------------------------

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食11回、昼食11回、夕食10回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時
から、羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上
■バスポート査証未使用欄：1ページ以上必要

人類最古の遺跡の数々とメソポタミア有数の古都

トルコ深南部と

メソポタミア地方の旅 9日間



TÜRKİYE JAPAN 100th ANNIVERSARY OF DIPLOMATIC RELATIONS

ユーフラテス川（ガズィアンテップ～シャンルウルフア間の景観）

古代文明揺籃のユーフラテス川、ティグリス川を渡る貴重な旅

メソポタミアの中世古都マルディンにもたっぷり3泊

ここに注目。旅のポイント

メソポタミア有数の美しい古都「マルディン」を歩く

周囲の平原を見下ろす戦略上の要衝として古くから栄えた古都マルディン。山の斜面にへばりつくように石造りの町が広がり、その頂にはシュメール人によって建てられた



古代メソポタミア地域の古都マルディン(イメージ)



ギョベクリ・テペ遺跡

ツアープランナーより

メソポタミア(古代ギリシャ語で2つの川の間の土地)文明の源、ティグリス川、ユーフラテス川上流域は、トルコ南東部にあり、古来より重要な交通の要衝でした。2022年に弊社として初めてご紹介した人類最古の遺跡「ギョベクリ・テペ」、さらにその後に公開された「カラハン・テペ」は、いずれも世界中からの注目を集めています。このたびは、さらに東進してシリア国境に近い歴史の街マルディンにもスポットライトを当て、中世古都の街並みと、周辺のメソポタミアの知られざる見どころを3泊の滞在でご紹介します。ホテルや道路など、インフラも相当に整ってきました。世界有数のメソポタミアの遺跡や大自然の絶景はもちろん、旅の大切な要素としての、街歩きの面白さ、食の楽しみにも十分配慮しておつくりしました。



東京支店 中屋雅之

歴史の定説を覆す大発見、
ロマン溢れる古代遺跡「カラハン・テペ」

茫然たる風景の中、小高い丘の上にひっそり佇む「カラハン・テペ遺跡」。世界を驚かせた「ギョベクリ・テペ遺跡」よりも、さらに1,000年古い(1万3,000年前)とされる神殿遺跡の一部には石柱が並び、壁には



人類最古の神殿遺跡ギョベクリ・テペよりも古い、1万3,000年前の遺構とされる、カラハン・テペ遺跡



洗練されたトルコの食文化も楽しむ
食通の街ガズィアンテップ

トルコ料理はフランス料理、中華料理と並び、世界三大料理に数えられ、中でもガズィアンテップは「グルメの街」、「食い倒れの街」としてトルコでは広く知られています。数ある名店の中でも、地元の郷土料理を紹介するために市長の肝いりでオープンしたのが、「ガズィアンテップ料理芸術センター」。モダンで高級感ある上品な雰囲気とともに、自慢のフル

コースに舌鼓をうち、トルコの高い食文化を堪能いただけます。



トルコ伝統料理の代表、ピペル・ドルマス（パプリカにひき肉と米を詰めた料理）

ツアーの見どころ

世界最大のモザイク博物館「ゼウグマ・モザイク博物館」

モザイクで世界的に有名なチュニスのバルドー国立博物館を凌ぐ、世界最大規模(3万㎡)のモザイク博物館。有名な「ジプシーガール」をはじめ、トルコの至宝モザイクの数々を堪能します。



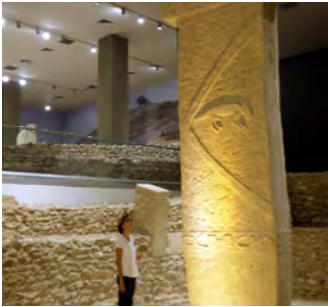
「ジプシーガール」



壮大さに目を奪われるモザイクの数々

迫力満点の必見博物館「シャンルウルフア考古学博物館」

ギョベクリ・テペ遺跡からの貴重な出土品をはじめ、1万点以上の考古展示物を有する博物館。世界最古の人物石像ウルファマン、迫力満点の巨石群などを、間近でご覧いただけます。



古代彫刻美術の宝庫、トルコ最大級の考古学博物館

ご宿泊ホテル

■ ガズィアンテップ：グランド・ホテル・ガズィアンテップ

■ シャンルウルフア：アラ・ハン・ブティック・ホテル

■ マルディン：カヤ・ニノヴァ・ホテル

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみ客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：ME198T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・9日間】 2024年 11月14日(木) 2025年 1月20日(月), 2月17日(月)		エコノミークラス利用 ¥498,000	ビジネスクラス利用 ¥1,018,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥70,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着国際線区間（成田空港～イスタンブール空港間往復）			
燃油サーチャージ別途目安：¥70,500：5月1日現在			

欧	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:15発→イスタンブール18:00着 イスタンブール21:05発→ガズィアンテップ22:55着	午前、成田空港より、ターキッシュエアラインズにてイスタンブールへ。 着後、航空機を乗り換え、 トルコ深南部の歴史的都市ガズィアンテップ へ。 【2連泊】(ガズィアンテップ泊) ☐ 機	
	ガズィアンテップ	終日、 ガズィアンテップの市内観光 。 午前、ゼウグマ遺跡から出土した色鮮やかなモザイクの展示で知られる ●ゼウグマ・モザイク博物館 へご案内します。 昼食は、 隊商宿(キャラバンサライ) を改装したレストランにてをご用意しました。 午後、 ○旧市街の散歩 へご案内します。 夕食は、「ガズィアンテップ料理芸術センター」にて、洗練されたトルコ郷土料理をお召し上がりいただけます。 (ガズィアンテップ泊) 朝 昼 夕	
2	ガズィアンテップ08:00発→ゼウグマ【ユーフラテス川】 シャンルウルフア 13:00着	午前、鮮やかなモザイクが施された古代ローマ時代の邸宅群遺構 ●ゼウグマ古代都市遺跡 を訪れます。 その後、悠久の 大河ユーフラテス川 を渡り、 シャンルウルフア へ向かいます。 午後、 シャンルウルフアの観光 。 ○聖なる魚の池、○預言者アブラハム生誕の洞窟 などご案内します。(注1) 【2連泊】(シャンルウルフア泊) 朝 昼 夕	
	シャンルウルフア ☐ (カラハン・テペ) (ギョベクリ・テペ) ☐ シャンルウルフア	午前、一般公開して間もない古代遺跡 ●カラハン・テペ(現在も発掘中) の見学にご案内します。 午後、 人類最古の宗教遺跡●ギョベクリ・テペを見学 を楽しみます。 (シャンルウルフア泊) 朝 昼 夕	
3	シャンルウルフア 13:00発→マルディン16:30着	午前、引き続き、シャンルウルフアの観光へ。ギョベクリ・テペ遺跡の出土品も展示する ●考古学博物館 、隣接する ●モザイク博物館 にご案内します。 夕刻、 中世古都マルディン のホテルにチェックイン。 【3連泊】(マルディン泊) 朝 昼 夕	
	マルディン (旧市街の街歩き)	午前、山の斜面に広がるエキゾチックな中世の街 マルディン旧市街の散歩観光 。かつてのシリア教会を再利用した ●マルディン博物館 、現在も活動する ○40人教会、●カースィミエ工神学校、●ザファラン修道院 などご案内します。 午後、引き続き、添乗員とガイドとともに、旧市街をご案内します。 (マルディン泊) 朝 昼 夕	
4	マルディン ☐ (ハサンケイフ) ☐ 【ティグリス川】(ミディヤット) ☐ マルディン	午前、ダム建設での水没に伴いティグリス河畔に移築された かつての古代都市ハサンケイフ を訪れます。 古代都市が沈んだティグリス川をボートにて遊覧 します。 午後、クルド人とシリア清教徒が暮らす 歴史古都ミディヤット を訪れ、 シリア正教会最古の修道院●聖ガブリエル修道院 を見学します。 (マルディン泊) 朝 昼 夕	
	マルディン10:15発→イスタンブール12:30着 イスタンブール15:20発→成田空港08:30着	午前、マルディンより、航空機にてイスタンブールへ。 着後、航空機を乗り換え、ターキッシュエアラインズにて帰国の途へ。 午前、成田空港に到着。解散。 (機中泊) 朝 ☐ 機 ☐	

(注1)シャンルウルフアの観光は5日目の午前中と分けてご案内する予定です。

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付条件がございますので各支店へお問い合わせください。
ご旅行条件とご注意		
■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食7回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員:成田空港ご出発時から、成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間:帰国時3か月以上 ■バスポート査証未使用欄:2ページ以上必要		

大切なご注意（必ずご一読ください）
このたびのツアーには一部外務省の「危険レベル2」の地域が含まれています（マルディン及び周辺）。（危険レベル2「不要不急の渡航は止めてください。」渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください（日本外務省）。）
JATA（日本旅行業協会）のガイドラインに基づきまして、下記の**安全対策**を講じますので、予めお聞きください。（下記は、「危険レベル2」の地域におけるものとなります）
●現地治安当局、観光局などの政府機関との安全確認 ●現地日本領事館との連絡体制 ●全行程同行ガイド、及び添乗員に加え、場所によっては現地の係員を加えての案内体制 ●グループ行動を基本とし、1時間以上の「自由行動」は原則設けない
尚、現在欧米諸国では日本のような危険レベルの指定はなく、年間7万人ほどの観光客が自由に訪れております。（2024年6月1日現在）

ペトラ遺跡まで徒歩圏のホテルに宿泊
こだわりのホテルで楽しむ
ヨルダン周遊の旅 8日間



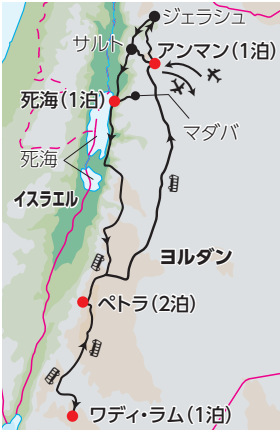
シク（小道）を抜けると忽然と現れるエル・ハズネ（宝物殿）

ツアープランナーより

ヨルダンには、古代遺跡の数々、世界で最も低所にある塩湖・死海や自然が築いた造形美が見られる広大な砂漠ワディ・ラム、聖書ゆかりの地など多彩な魅力がぎっしりと詰まっています。2021年に新たに世界遺産に加わったサルトへも足を延ばします。また、世界屈指の古代都市遺跡ペトラの宿泊では、遺跡まで徒歩圏内のホテルを確保し、お客様ご自身のペースで自由に訪ねられるようにしました。ワディ・ラムでもテント型ホテルに宿泊。11・12月は満月に、1・2月は新月に近い日程とし、夜空観賞をお楽しみいただけるようにするなど、見どころにより印象深くアプローチできる宿泊施設を選びました。ひと味違うヨルダンの旅をお楽しみください。



東京支店 吉田将也



ヨルダンの世界遺産をもっと深く、より印象的に
ペトラを自由に散策、ワディ・ラムで新月・満月の夜空を

ツアーの見どころ

こだわりのホテル① ペトラでは遺跡から徒歩圏内のホテルに連泊し、じっくりと遺跡を見学

ペトラは紀元前3世紀に栄えた、ナバテア人の隊商都市。シクと呼ばれる断崖絶壁の細い道を進むと、見事なファサードを持つエル・ハズネ（宝物殿）が、忽然と姿を現します。徒歩圏内のホテルに宿泊することによって、午後の自由行動の時間も合わせて、広大な都市遺跡を自身のペースで見学できます。夜もランタン・キャンドルのほのかな灯りにエル・ハズネが浮かび上がる、幻想的な「ペトラ・バイ・ナイト」にご案内します。



幻想的に浮かび上がる「ペトラ・バイ・ナイト」も徒歩での訪問が可能です

こだわりのホテル②

『アラビアのロレンス』の世界 ワディ・ラムでは、砂漠での特別な滞在

死海からペトラの南方に広がるワディ・ラム砂漠へは、ナバテア人が香料やスパイスを運んだ「王の道」を駆けていきます。『アラビアのロレンス』のロケ地であり、映画に登場した、風雨が造り上げた壮大な大地の芸術が目の前に現れます。



文化・自然ともに高く評価され、複合遺産に登録されるワディ・ラム（イメージ）

そして、砂漠の真っ只中でラグジュアリーなガラス製のパノラミックテントに宿泊。新月または満月近くにツアーを設定し、ワディ・ラムの異名である「月の谷」や満天の星をお楽しみいただけます。



バブル・テント型の客室に宿泊し、ワディ・ラムの夜空を眺めながらおつろぎいただけます（イメージ）

ヨルダンで最も新しい世界遺産の古都サルトを訪ねます

エルサレムに続く街道沿いに位置し、19世紀に貿易の中心地となり発展。オスマン帝国時代の面影を伝える山吹色の石造りの伝統的な建物が建ち並び、古都風情を感じさせます。地元のベドウィン、シリアやレバノンの商人、キリスト教の宣教師など多様な人々が暮らし、民族や宗教の違いを超えて共生していた歴史から、2021年に「寛

容と都市のホスピタリティの場所」として世界遺産登録されました。



山吹色の石造りの家々が軒を連ねます

古代ローマの栄華を今に伝えるジェラシュ遺跡

「中東のポンペイ」とも呼ばれる世界遺産ジェラシュ。古代ローマの植民地として栄えましたが、大地震により崩壊しました。砂に呑み込まれたために保存状態がよく、当時の姿をよく残しています。



泉の神であるニンフを祀った神殿跡

中東屈指のモザイク画が残る世界遺産ウム・アル・ラサス

ローマ時代後期に発展し、3世紀末から9世紀にかけ繁栄を続けた古代の城塞都市。旧約・新約聖書に出てくるヨルダン川周辺の27もの都市が描かれた、聖ステファノス教会のモザイク画は必見です。



聖ステファノス教会のモザイク画

死海では浮遊体験をご体験ください

ヨルダンを訪ねたなら見逃したくない名所のひとつ、塩湖の死海。海水の10倍もの塩分濃度があり、浮力が強いことからぶかぶかと浮遊体験が楽しめます。体の力を抜くのがコツ。ぜひお試しください。



死海での浮遊体験（イメージ）

利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：ME114T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田または羽田空港集合・8日間】			
2024年	満月 11月11日(月), 満月 12月9日(月)	エコノミークラス利用	ビジネスクラス利用
2025年	新月 1月27日(月), 新月 12月24日(月)	¥458,000	¥978,000
(注)			
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：全区間に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥66,000/6月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港22:30発→	深夜、成田空港より、航空機にてドバイへ。	(機中泊) □□機
2	ドバイ05:30着 ドバイ14:05発→ アンマン16:30着 ⇐ 死海18:30着	航空機を乗り換え、アンマンへ。 着後、死海沿岸のホテルへ。	(死海泊) 機機夕
3	死海09:30発 ⇐ (ウム・アル・ラサス) ⇐ (マダバ) ⇐ ワディ・ラム18:30着	朝、死海の浮遊体験をお楽しみください。その後、ローマ時代のモザイク画が残る世界遺産図●ウム・アル・ラサス、マダバの●聖ジョージ教会を訪ね、ワディ・ラムへ。 ご宿泊は居ながらにして大自然を満喫できるバブル・テント型のホテルです。 夜、人工の明かりが少ないホテル周辺で星空、または月見をお楽しみください。(注)	(ワディ・ラム泊) 朝昼夕
4	ワディ・ラム11:00発 ⇐ (リトル・ペトラ) ⇐ ペトラ16:00着	午前、「アラビアのロレンス」の舞台世界遺産図ワディ・ラムの観光。4輪駆動車で砂漠と奇岩の壮大な景観をお楽しみいただきます。 その後、ペトラへ。着後、リトル・ペトラにご案内します。 ご宿泊は世界遺産図ペトラ遺跡まで徒歩圏のホテルです。 夕食後、エル・ハズネが幻想的にライトアップされる「ペトラ・バイ・ナイト」へご案内します。	[2連泊] (ペトラ泊) 朝昼夕
5	ペトラ	終日、世界遺産図ペトラ遺跡の観光。入口からシクと呼ばれる隘路を歩き、エル・ハズネ(宝物殿)、ローマ円形劇場、王家の墓、凱旋門などゆっくり見学します。 昼食後、自由行動。遺跡まで徒歩圏のホテルを確保しておりますので、ご自身のペースでゆっくりと散策や写真撮影などお楽しみください。ご希望の方はエド・ディル(修道院跡)へご案内します。	(ペトラ泊) 朝昼夕
6	ペトラ08:00発 ⇐ アンマン11:00着 (考古学博物館) (サルト)	朝、バスにてアンマンへ。 着後、●考古学博物館、○城塞の見学へご案内します。 午後、世界遺産図サルトへ。オスマントルコ時代の面影が残る街並みをご案内します。	(アンマン泊) 朝昼夕
7	アンマン ⇐ (ジェラシュ遺跡) ⇐ アンマン18:10発→ ドバイ22:00着	午前、古代ローマ遺跡としては世界屈指の保存状態の良さを誇る●ジェラシュ遺跡の見学。 夕刻、航空機にてドバイへ。	(機中泊) 朝昼機
8	ドバイ02:55発→ 成田空港17:20着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 朝、成田空港に到着。解散。	機□□

※日程表の時刻は成田空港発着のエミレーツ航空の利用を想定したものです。エミレーツ航空の羽田空港発着便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

(注) 星空の観賞や月見は自然現象のため、天候等によりご覧いただけない場合もございます。11月11日、12月9日発は満月、1月27日、2月24日発は新月周辺の出発日です。

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付乗条件がご適用で各支店へお問い合わせください
----------	--	--------------------------

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食5回、昼食5回、夕食5回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。
■バスポート必要残有効期間：入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要 ■ヨルダンの査証は現地取得となります。(6月1日現在無料)

ご宿泊ホテル

- 死海：デッド・シー・スパ・リゾート
- フワディ・ラム：サン・シティ・キャンプ
荒涼たる美しさを誇るワディ・ラム内に建つホテル。お部屋から星空や外の景色を満喫出来る、設備の整ったバブル・テント型の客室をご用意しました。※シャワーのみの客室となります。
- ペトラ：ペトラ・ゲストハウス
ペトラ遺跡まで至近の距離にあるホテル。名物のケイブ・バー(ナバテア時代からの洞窟を改装したバー・レストラン)もお楽しみください。
- アンマン：インターコンチネンタル・アンマン
アンマンを代表する高級ホテルの一つです。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

開かれた神秘のヴェール

アラビアの源流

サウジアラビア周遊の旅 10日間



夕暮れのメディナのシンボル、預言者のモスク © サウジアラビア政府観光局提供

聖地メディナ「預言者のモスク」を目の当たりに。

最新サウジアラビアの決定版

ツアーの見どころ

ついに、閉ざされていたイスラム教の聖地メディナへ

私どもは1996年、世界に先駆けサウジアラビア旅行を始めたことからパイオニアを自負しておりますが、イスラム教の二大聖地であるメッカとメディナへはイスラム教徒以外の入域が許されず、ご案内できずにおりました。そのメディナへの訪問は

2022年から解禁。メディナはメッカからムハンマドが移り住んだ聖地です。最古のモスクのひとつといわれ、ムハンマドの霊廟でもある「預言者のモスク」がそのシンボル。中には入ることはできませんが、周囲の散策にもご案内します。



預言者のモスク前の広場。傘のオブジェが強い日差し避けになっています（イメージ）

ナバテア人の岩窟墳墓が連なる隊商都市
世界遺産マダイン・サーレ

サウジアラビアのマダイン・サーレは、2000年ほど前にこの地に隊商都市を築いたナバテア人の古代遺跡です。かつてここから、ヨルダンのペトラへと隊商路で結ばれていたといわれます。ペトラ遺跡が切り立った岩の谷の中にあるのに対し、こちらは砂漠地帯に忽然と姿を現します。巨大な岩山を削り貫き、それぞれに文様の異なる神殿風の彫刻が施された岩窟墳墓が砂漠の中に100以上残されており、その壮大な規模に圧倒されます。古代ナバテア人の息遣いにふられる世界遺産です。



世界遺産マダイン・サーレには巨大な岩窟墳墓がいくつも見られます



預言者のモスク前の広場

ツアープランナーより

2019年、サウジアラビアは初めて外国人向けの観光ビザの発給を開始すると発表。それでもなお、聖地メディナはイスラム教徒以外は町の中心部に入ることを許されませんでした。それがついに2022年より、預言者ムハンマドの墓のある「預言者のモスク」のすぐそばまでご案内することができるようになりました。世界中の旅行リピーターが足を踏み入りたいであろう最新の旅行目的地であり、垂涎の地ともいえます。ツアーではメディナの宿泊を日程に入れて、皆様をイスラムの二大聖地のひとつにご案内します。また、古代ナバテア人の遺跡マダイン・サーレやディライーヤ遺跡、歴史都市ジェッダをはじめとする世界遺産など必見の見どころを網羅してご案内する、最新のサウジアラビア決定版の旅です。



東京支店 若生春香

ギネス認定・世界最大の鏡張り建築物

アルウラの砂漠地帯のただ中に建つ「マラヤ」コンサートホール。息をのむような周囲の美しい風景を映し出すこの建築は、全面が9,740㎡の鏡面で覆われており、「世界最大の鏡張り建築物」としてギネス認定されております。世界に2つとはない写真映えする不思議な建築をお楽しみください。



摩訶不思議な最新建築「マラヤ」コンサートホールの写真撮影をお楽しみください © サウジアラビア政府観光局提供

サウジアラビアに高速鉄道が誕生

全長453キロ、最高時速300キロ以上で走る、メッカ・メディナ高速鉄道（ハラマイン高速鉄道）は、サウジアラビアで最新の鉄道。運航開始は2018年で、世界中から集まる巡礼者が快適かつ安全にメッカとメディナを訪ねるために造られました。今回はメディナからジェッダまでの



サウジアラビアの鉄道乗車体験をお楽しみください（イメージ）

世界遺産ジェッダ旧市街、昔ながらの町並み

ジェッダでは「オールド・ジェッダ」の散策にご案内します。エジプトを中継地とする紅海交易の要衝であり、古くからメッカへの聖地巡礼の主要な中継基地として発展してきた歴史を有します。オイルマネーで一気に都市開発が進んだサウジアラビアでは近代的高層ビルが建ち並ぶ町が目立ちますが、そのなかで、オールド・ジェッダには今も昔ながらの趣を保つ貴重な町並みが残されています。

窓が壁から張り出し、風通しを良くすると同時に日射しを遮るように造られた家々が特徴的で実に絵になります。



張り出し窓の建物が並ぶ、世界遺産のジェッダの歴史地区

都市遺跡、ディライーヤ（世界遺産）へ

アラビア語で「盾」を意味するディライーヤは、18世紀半ばに生まれたサウド王国発祥の地。アラビア半島における政治、宗教の中心地として、数多くの宮殿や行政機関が置かれるなど繁栄しましたが、19世紀にオスマン帝国によって破壊されました。現在、その都市遺跡の修復作業が進み、ほかではほとんど見られなく

なった、アラビア半島の中心部特有のナイディ建築様式の建物などをご覧いただけます。



第一次サウド王国時代の都市遺跡が残るディライーヤ。世界遺産に登録されています（添乗員撮影）

世界遺産の岩絵が残るハイール地方へ

ハイールへ向かう途中、世界遺産の岩絵が残るジュッパを経由して向かいます。今は見渡すかぎりの砂漠が広がりますが、かつてここにはオアシスがあったと考えられています。

それを物語るのが、1万年以上前の遊牧民が描いたとされる岩絵です。ラクダや牛、ガチョウのような動物の姿が生き生きと描かれています。

ご宿泊ホテル

- ドバイ：（1日目）アシアナ・グランド・ホテル（8日目）ノボテル・ドバイ・アルバーシャ
- リヤド：ラディソン・ブリュ
- ハイール：ミレニアム・ホテル
- アルウラ：サハリー・リゾート
- メディナ：メリディアン
- ジェッダ：モーベンピック・シティ・スター

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：キャセイパシフィック航空、サウジアラビア航空		ツアーコード：ME182T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田空港集合・10日間】 2024年 11月27日(水) 2025年 2月6日(木)		エコノミークラス利用 ¥798,000	ビジネスクラス利用 ¥1,198,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥140,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：羽田～香港～ドバイ間の往復に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥64,800：6月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港10：10発→香港 14：20着／16：45発→ドバイ22：05着	午前、キャセイパシフィック航空にて香港へ。航空機を乗り換え、ドバイへ。 着後、空港近くのホテルへ。	（ドバイ泊）機機〇
2	ドバイ10：40発→リヤド11：50着 （博物館などリヤド市内観光）	航空機にてリヤドへ。 着後、バスにてリヤドの市内観光へ。●国立博物館へご案内します。	（リヤド泊）国屋夕
3	（世界遺産ディライーヤ遺跡）リヤド18：05発→ハイール19：30着	午前、○ラージヒー・グランド・モスクを見学します。その後、●ディライーヤ遺跡の観光へご案内。夕刻、国内線にてハイールへ。（注1）	【2連泊】（ハイール泊）朝屋国
4	ハイール （世界遺産ジュッパの岩絵）	午前、バスにて古代人の岩絵が残る●ジュッパを訪ねます。午後、ハイールへ戻り、○アイリフ要塞へご案内します。	（ハイール泊）朝屋夕
5	ハイール08：00発 アルウラ13：00着 （全面鏡張りの「マラヤ」コンサートホール）	午前、バスにてアルウラへ向かいます。着後、全面鏡張りの○「マラヤ」コンサートホールに立ち寄り、○ダダーン王国の史跡を訪ねます。	（アルウラ泊）朝屋夕
6	（世界遺産マダイン・サーレ）アルウラ13：30発 メディナ18：00着	午前、ナバテア王国の南の都、●マダイン・サーレの観光へご案内します。（注2） 午後、バスにてメディナへ向かいます。	（メディナ泊）朝屋夕
7	（イスラム教2大聖地のひとつメディナ）メディナ15：00発 ジェッダ16：54着	午前、イスラム教の2大聖地のひとつメディナの市内観光へ。○預言者のモスクなどを訪れます。午後、高速鉄道にてジェッダへ（注3）。	（ジェッダ泊）朝屋夕
8	（世界遺産ジェッダ旧市街）ジェッダ17：35発→ドバイ21：30着	午前、●ジェッダの市内観光へ。○メッカ門、○アラウィスーク、○アル・ハナフィモスクなどへご案内します。夕刻、航空機にてドバイへ。便利な立地の街中のホテルをご用意しました。	（ドバイ泊）朝屋機
9	ドバイ23：40発→	午前、自由行動。チェックアウト後、添乗員がドバイの散策にご案内します。夜、空港へ。 夜、キャセイパシフィック航空にて香港へ。	（機中泊）機〇夕
10	香港 10：45着／16：25発→羽田空港21：15着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、羽田空港着後。着後、解散。	機〇機

（注1）国内線や鉄道の時間は変更となる場合があります。
（注2）マダイン・サーレの観光では現地の規則により、混乗バスに乗り換えてのご案内となります。
（注3）スーツケースの運搬はご自身でお願い致します。

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付条件がご変更のうえ 各支店へお問い合わせください。
----------	--	--------------------------------

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要
【ビザに関して】■査証料金¥21,000 ■査証手続き手数料¥6,600(税込) ■必要書類：パスポートのカラーコピー（顔写真のページ） ■証明写真1枚 ・サイズ：縦5cm×横5cm ・6か月以内に撮影されたもの ・背景が白色のカラー写真（背景色と同等する白の上着は不可） ・メガネ着用不可 ・正面向き（肩から上、無帽、頭頂から顎下までが3.5cm～4 cm以内） ・バスポートに使用した写真は避けてください。
【重要】※旅券にイスラエルの査証または出入国記録がある場合、同旅券ではサウジアラビアに入国できない場合があります。該当する方は、弊社までお知らせください。
※サウジアラビア到着14日以内にイランへの渡航歴のある方は、ご参加いただけません。
※18歳未満の方はご参加いただけません。

新日の顔が入り混じる、ペルシャ湾岸の国々

アラビア半島湾岸6カ国周遊の旅

10日間



オマーン、ニズワの旧市街と金曜日のモスク（イメージ）

世界の注目を浴びるアラビア半島

古き良きアラビアと未来都市の共存

ツアーの見どころ

【クウェート】湾岸有数の高福祉国家

1990年8月のイラクの侵攻により不幸にも約7カ月間占領されましたが、1991年2月末、解放。市内には当時の荒廃は全く見られず近代的な町並みが広がります。国民の

94%が国家公務員または国営企業に勤め、手厚い保護を受ける高福祉国家です。国のシンボルであるクウェート・タワーや国立博物館などへご案内します。



クウェート・シティ（手前はクウェート・タワー）（イメージ）



湾岸諸国で最も伝統的な生活を続けているオマーンの人々。男性の大半は伝統衣装ディシュダシュと帽子のクマを着用しています（イメージ）

ツアープランナーより

ペルシャ湾岸諸国の国々は古代よりメソポタミアとインドを結ぶ交易の基地として重要な役割を果たしてきました。20世紀に入ると、多くの国で石油の発掘がはじまり、急速に近代化されました。まさに、新旧入り混じる現在のアラビアを代表する国々が、今回ご案内する6カ国なのです。オマーンは、山岳地帯の歴史的な要塞や古い町を良く残し、バーレーンでは紀元前2800年の遺跡やポルトガル統治時代の要塞などが残されています。一方、クウェートは「石油に浮かぶ国」と表現され、そのオイルマネーを背景にした近代化には目覚ましいものがあります。改革開放政策に舵を切り、訪れやすくなったサウジアラビアのダンマームなど、それぞれ異なった魅力を持つ国々を比較するのも、旅の楽しさの一つでしょう。



東京支店 桂 智洋

【バーレーン】アラビア湾の「エデンの園」

約40もの島々から成り、その歴史は紀元前3000年に遡るバーレーン王国。古来より真水に恵まれ緑が豊かだったことから海上交易の要衝として栄え、この島こそ「エデンの園」だったとの伝説も残ります。16～

17世紀、島を支配したポルトガル人が建設したバーレーン要塞や、アリの古墳群へ。また、サウジアラビアとを結ぶ全長25キロの海上道路、キング・ファハド・コーズウェイも通過し、サウジアラビアに入国します。



世界遺産バーレーン要塞

【オマーン】古き良きアラビアの面影

紀元前4000年からの古い歴史を持つオマーンは、湾岸地域では珍しく、7世紀のイスラム改宗にいたるまでペルシャの強い影響下にありました。そのため現在も使われているフアラージ（水路による灌漑システム）などペルシャ時代からの文化が今も息づいています。色濃く残る、古き良きアラビアをお楽しみください。



マスカットのマトラ・スーク（イメージ）

【サウジアラビア】改革・開放政策に動くアラビアの源流

イスラムの2大聖地、メッカとメディナを擁するサウジアラビア。近年は厳格なイスラム法の解釈に基づく規制や入国規制などもあり、訪問しづらいイメージもありましたが、脱石油依存を掲げる皇太子ムハンマド・ビン・サルマーンの改革・開放政策により他のアラビア湾岸諸国と同様に訪れやすい国へと変わりました。このたびのコースでは、通常のサウジアラビアのコースでは訪れないダンマームを訪問。「サウジアラビアの文

化的拠点」と位置付けられ、独特の外観が特徴的なキング・アブドゥル・アジズ・世界文化センターなど参観します（外観のみ）。



独特の外観が特徴的なキング・アブドゥル・アジズ・世界文化センター ©サウジアラビア観光局

【アラブ首長国連邦：アブダビ】ルーブル・アブダビは必見

ルーブル・アブダビは、ルーブル美術館やオルセー美術館、ギメ東洋美術館から貸与された珠玉の作品が並びます。時期により展示作品は異なりますが、モネ、ゴッホなどの有名作品、日本の美術品もかなりレベルが高く、さらに世界史を俯瞰できる出土品なども興味深いものです。しっかり時間をお取りしてご覧いただけます。



ルーブル・アブダビは、展示作品だけではなく美術館の建築そのものも世界的に高い評価を受けています

【カタール】イスラム美術の殿堂へ

アラビア半島の東側に突き出た国カタールでは、首都ドーハの観光へご案内。2022年10月にリニューアルしたイスラム美術館では、カタールの現首長のサーニー家が収集したイスラムアートをご覧ください。フランス・ルーブル美術館のガラスピラミッドの建築家、イオミン・ペイが手がけたモダンな建物にも注目です。

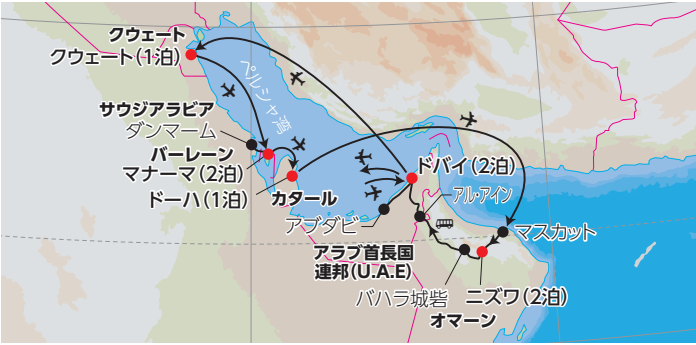


常設展示室を一新したイスラム美術館

ご宿泊ホテル

- ドバイ：ノホテル・ドバイ・アルバーシャ
- クウェート・シティ：コートヤード・バイ・マリオート
- マナーマ：ウィングダム・ガーデン
- ドーハ：セントロ・キャピタル
- ニズワ：ゴールデン・チューリップ

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：キャセイパシフィック航空		ツアーコード：ME065T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田空港集合・10日間】 2025年 2月18日（火）		エコノミークラス利用 ¥895,000	ビジネスクラス利用 ¥1,295,000
（お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金¥140,000にて承ります）			
ビジネスクラス利用区間：羽田～香港～ドバイ間の往復に適用となります。			
燃油サーチャージ別途目安：¥82,700：6月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港10：10発→香港 14：20着 16：45発→ドバイ22：05着	午前、航空機にて香港へ。着後、航空機を乗り換え、ドバイへ。ドバイ着後、ホテルへ。	【2連泊】（ドバイ泊） ☐ 機
2	ドバイ（アブダビ） ＜①アラブ首長国連邦（UAE）＞	午前、①アラブ首長国連邦の首都アブダビへ。着後、●ルーブル・アブダビ美術館を見学します。その後、ドバイへ戻り、様々な世界の車窓観光。	（ドバイ泊） ☐ 朝昼夕
3	ドバイ07：50発→クウェート08：30着 ＜②クウェート＞	朝、航空機にてクウェートへ。着後、②クウェートの市内観光。この国のシンボルでもある●クウェート・タワー、1万人を収容できる○グラッド・モスク、●国立博物館へご案内します。	（クウェート泊） ☐ 朝昼夕
4	クウェート11：35発→マナーマ12：40着 ＜③バーレーン＞	午前、航空機にて③バーレーンの首都マナーマへ。午後、マナーマの市内観光。④バーレーン要塞、○アハマド・アル・ファテフ・モスクを見学します。	【2連泊】（マナーマ泊） ☐ 朝
5	マナーマ（ダンマーム） ＜④サウジアラビア＞	午前、キング・ファハド・コーズウェイを走り、④サウジアラビアへ入国し、ダンマームへ。○キング・アブドゥル・アジズ・世界文化センターなど簡単な市内散策と食事へご案内。午後、バーレーンへ戻り、⑤アリの古墳群、⑥真珠養殖の遺構へご案内します。	（マナーマ泊） ☐ 朝昼夕
6	マナーマ10：25発→ドーハ11：10着 ＜⑤カタール＞	午前、航空機にて⑤カタールの首都ドーハへ。着後、ドーハの市内観光。中東でも有数の収蔵品を誇る、●イスラム美術館、○スーク・ワキフ、○ステート・グラッド・モスクなどにご案内します。	（ドーハ泊） ☐ 朝昼夕
7	ドーハ08：35発→マスカット11：05着 ニズワ ＜⑥オマーン＞	午前、航空機にて⑥オマーンの首都マスカットへ。着後、マスカットの観光。○マトラ・スーク、○アラム・パレス（王宮）など見学。夕刻、ニズワへ。	【2連泊】（ニズワ泊） ☐ 朝昼夕
8	ニズワ（ビルカット・アル・ムズ）（バハラ城砦）	午前、ニズワ周辺の観光。フアラージと呼ばれる伝統的な灌漑システムが残る、⑦ビルカット・アル・ムズ、⑧バハラ城砦へご案内。午後、自由行動。古き良き面影が残るニズワ・スークの散策などのんびりとお過ごしください。	（ニズワ泊） ☐ 朝昼夕
9	ニズワ08：00発→アル・アイン ドバイ23：40発→	午前、アラブ首長国連邦との国境に位置するオアシス都市、アル・アインへ。昼食後、⑨アル・アインの散策。その後、ドバイ空港へ。夜、航空機にて香港へ。	（機中泊） ☐ 朝昼夕
10	香港 10：45着 16：25発→羽田空港21：15着	着後、航空機を乗り換え、羽田空港へ。着後、解散。	機

（注）地域柄、事前の情報なく、突然、観光施設に入れなくなってしまう場合がございます。その際は代替観光を試みますが、それに伴う返金はございません。予めご了承ください。

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付条件がございますので各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食7回、夕食8回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページを3か所（計6ページ）含む7ページ以上必要
【ビザに関して】■査証料金¥21,000 ■査証手続き手数料¥6,600（税込） ■必要書類：パスポートのカラーコピー（顔写真のページ） ■証明写真1枚 ・サイズ：縦5cm×横5cm ・6か月以内に撮影されたもの ・背景が白色のカラー写真（背景色と同化する白の上着は不可） ・メガネ着用不可 ・正面向き（肩から上、無帽、頭頂から顎下までが3.5cm～4cm以内） ・パスポートに使用した写真は避けてください。
【重要】
※旅券にイスラエルの査証または出入国記録がある場合、同旅券ではサウジアラビアに入国できない場合があります。該当する方は、弊社までお知らせください。
※サウジアラビア到着14日以内にイランへの渡航歴のある方は、ご参加いただけません。
※18歳未満の方はご参加いただけません。
※オマーン国では、「海外旅行保険」への加入が義務付けられております。

